

R 元年度第 1 回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：令和元年 9 月 4 日（水） 9：30～11：45

場所：すこやかセンター伊野 大会議室

出席：委員 23 名中、21 名が出席（代理出席 2 名含む）

議事：（1）産業振興計画関連 年間スケジュールについて

（2）仁淀川地域アクションプラン 実行 3 年半の取り組みの総括について

議事（1）（2）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）

議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

（1）産業振興計画関連 年間スケジュールについて

意見交換等、特になし。

（2）仁淀川地域アクションプラン 実行 3 年半の取り組みの総括について

（No.13 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化）

（小田委員）

うるめいわしの商品を、越知町の「スノーピークかわの駅おち」でも販売したいと考えている。取引先も増えているという話だが、品数的にどうかお聞きしたい。

（柳地域支援企画員（総括））

オイルサーディンがテレビで放映された関係で、通信販売の売上が昨年同期比で 6 倍と聞いている。一時は少し品薄だったが、現在は十分な量が確保されている。

かわの駅での販売については、担当の方から連絡するように伝える。

（No. 3 力強い高糖度トマト産地の確立）

（黒石委員）

現在、日高村では 300 年来の大事業に取り組んでいると聞く。また、トマトについて、JA 高知県の会議で様々な意見があったとも聞くが、日高村産のトマトを今後もフォローすることに変わりはないか確認したい。

（戸梶委員）

日高村では、トマト産業の確立と、水との 300 年の闘いという課題に取り組んでおり、平成 26 年の水害を踏まえて、現在、日下川新規放水路の整備を進めている。また、農地も被害を受けないようにしていくために、総合治水条例の制定に取り組んでおり、山の保水力という意味では、森林組合にも様々な場面でご協力をいただいていることに心から感謝したい。

（大原（光）委員）

日高村のトマトについては、県、日高村、JA 高知県が一緒になって産地化に向けて取り組んでおり、コスモスアグリサポートという会社を設立して研修施設も持った施設でトマトを作り、将来的には担い手も育成していこうとしている。現在の収量は計画に届いていないが、県外の

篤農家の方から指導も受けながら一層収量を上げ、盛り上げていきたい。

(その他)

(黒石委員)

山林所有者が、自分の山に興味がなくなってきたことから、森林組合では、子どもたちに山に関心を持ってもらうための様々な取り組みをしている。市町村長にも、子どもたちと山や木で遊ぶ機会をつくっていただきたいと思う。

(堀見委員)

子どもたちを森や山に連れて行って木に親しんでもらうことは非常に大事だと思っており、佐川町でもこれからの学校教育のカリキュラムの中に入れ込んでいこうとしている。

山林所有者の山への関心を深める取り組みは新しい森林経営管理法の中でやれることは多くあるので、行政と森林組合が前向きに、課題解決への主体的な行動をとることが大事だと思う。

(No.25 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進)

(堀見委員)

主要宿泊施設の平成30年度の宿泊者数に「スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド」も含まれているとのことだが、それでも平成26年度と比較して宿泊者数が減っているのか。

(笹岡地域支援企画員(総括))

休業している施設の方がカウントできていないこと、また、昨年度は台風などで宿泊者数が一定落ちてしまったという部分も影響していると考えられ、このような実績になっている。

(小田委員)

平成30年度は屋形船の外国人の乗船者数が増えている。また、佐川町のまち歩きでも外国人の方が若干増えているとのことだが、その方々はこういった経路で来たのか。例えば、クルーズ客船での来訪かなど教えていただきたい。

(柳地域支援企画員(総括))

屋形船への外国人は、客船ということではなく、個人やグループで来ているようで、主に台湾、中国、香港の方が多い。時期としては3月や7月にグループで多く来ている。

(大山委員)

佐川町は、観光大使をお願いしている声優の小野大輔さんのイベント時に、国内各地もだが海外の方も来ている。また、クルーズ客船や個人で佐川町に来る海外の方もいる。

(小田委員)

県としても、クルーズ客船での外国人の流れについては意識していると思うが、グループや個人でのツアーの方の流れもある程度把握する必要があると思う。

文化の違いでのトイレの使い方やゴミのことなど、他県では問題視されているところもある。外国人に限らず、仁淀川流域の環境を守っていくということが大事だし、外国人の方は必ず周遊するので、流域でのデータもぜひ拾い上げていただきたいと思う。各市町村も、そういった検討やデータの出し合いも必要だと思う。

(廣瀬地域産業振興監(仁淀川地域本部))

いただいたご提案を受けて、取り組んでいきたいと考えている。

(黒石委員)

外国人観光客とのやり取りに簡単な翻訳機があるが、導入しているか。

(柳地域支援企画員 (総括))

日高村の屋形船やいの町の紙の博物館など、流域の様々な施設に導入している。

(以上)